

ウッドショック：その実態と木材関連産業への影響 ～木材マーケットはどうなるのか？～

【ZOOM オンライン開催】

2021 年に入って輸入材を中心に木材製品の不足や価格上昇が始まり、その傾向はますます顕著になっています。また、このような動きは輸入材だけにとどまらず、国産材の需要増加や価格上昇も本格化しています。その背景として、米国の住宅市場の活況に起因する世界的な木材製品の不足や、COVID-19 パンデミックに起因するコンテナの不足や遅延とフレートの高騰などが指摘されています。

「第 3 次ウッドショック」とも呼ばれる今回の木材市場の急激な変化について、その実態と影響などを会員間で共有するとともに、日本の木材関連産業の近未来を展望することを目的に木材利用システム研究会月例研究会を緊急開催します。

基調講演として、農林中金総合研究所の安藤範親氏、多田忠義氏から、ウッドショックをどう読み解くかについてご報告いただいた後、木材サプライチェーンを構成する製材工場、集成材工場、商社、プレカット工場、ハウスメーカーなどの各社から、「ウッドショック」による影響や対策などについてご報告いただきます。日本の木材マーケットの近未来についてディスカッションできればと考えております。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。

日 時：2021 年 6 月 10 日（木）17:00～19:00

内 容：（変更の可能性があります）

①基調講演

ウッドショックをどう読み解くか？

～コロナ禍で混乱する世界の木材需給と日本の木材・住宅産業～

安藤範親氏、多田忠義氏（農林中金総合研究所）

②情報提供

製材・集成材工場、商社、プレカット工場、ハウスメーカーなど

（報告者については調整中：決定次第お知らせします）

③ディスカッション

コーディネーター：幡建樹氏（東京大学）

- 会 場： ZOOM を利用した Web 会議形式
※当日のログイン情報については、お申込み頂いた後にお知らせいたします。
- 主 催： 木材利用システム研究会
- 参 加 費： 会員：無料、非会員：3,000 円
- 申込期限： 2021 年 6 月 8 日（火）
- 申込方法： 当研究会ホームページからお申込下さい。（<https://www.woodforum.jp/>）
- そ の 他： ZOOM の操作方法マニュアルを別途送付いたします。
お問い合わせはメールにてお願いします。

木材利用システム研究会事務局：（長坂、幡、栢野）
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7 号館 B 棟 439 室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp